



恋玉響

こいたまゆら

第一夜

メロニ
・妙高・

一族代々豊川家に仕える
エリート烏天狗。
しっかり者で真面目さん。
伏見さん家の那珂と
恋中。

h.ver.

夜猫の国
やびょうのくに

花街
はなまち

死んでなお
ろくな父親じゃ
なかつた

—と思うのは
これで何回目だろう

膨大な借金を
残して死んだ
父に対し

怒りも涙も
もう湧いてこない

牡丹
ぼたん
初客が
来たぞ

数ヶ月前

借用書

借

高利貸、もう
我が家には利子を
払う金すらないぞ

そりやね
判ってますよ
その借金をね

この春月楼さんが
肩代りしても
いいっておっしゃって
るんですよ

春月楼？

何、女郎屋で
ございますよ

失礼ながら
少し、そちら様の
事情を伺いまして
なんて気の毒な
境遇なんだろうと

女郎屋…

杏子の事を
知って…

ですから、私が
貴方様に代わって
妹君の面倒を
見させて頂ければと

そんな小さな子を
抱えて貴族の貴方様が
路頭に迷われるのは
大変でありましょう

何…？

意味が判らぬ

衣・食・住は勿論
保障させて頂きます
ああただ失礼ですが
貴方様には私の店で
働いて頂く事にな
りますが…

でも、妹君には
苦勞は一切させません
その方が妹君も
幸せでしょう

…幸せ…

杏子の
衣・食・住

この時は

…幸せ

これが正しいと
信じて
疑わなかった

…その話受けよう



未遂だな



誰...?

お前が



牡丹だな

稲荷...?

ドス(←)の結果↓







たった今から
お前達は
俺のモノだ



何が起きて
いるんだっ

稲荷の国

訳も判らず
あの男の館に
連れて来られて
しまった

！
疲れた…

稲荷の国は
遠い…！

結局、あの男から
何も聞けなかった